

NEO CLASSIC



ネオクラシックシリーズカタログ

P03 どんな風景にも違和感なく溶け込むモダンジャパンスタイル

やすらぎ

スピカ

P05 豊かな曲線美が織りなすエレガントスタイル

オーロラ

フローラ

P07 存在感と美の神秘の共存ラインビューティスタイル

シリウス

月光

P09 感性と伝統が融合したシンボリックスタイル

ドルチェ

グレイス



J A P A N E S E M O D E R N G R A V E S T O N E

NEO CLASSIC

ネ オ ク ラ シ ッ ク

さりげなく自分を表現したい。

ささやかでいい、本当の私らしさを大切に。

あでやかな大輪の花よりも、

喜びの大地に咲く小さき花のように…

「私らしさ、魅つけた。」

ここからまた、始まる自分。



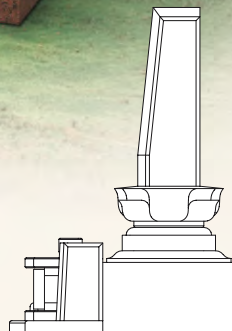
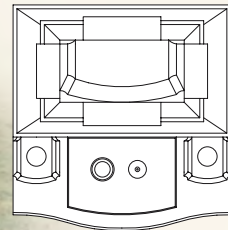
やすらぎ

Yasuragi

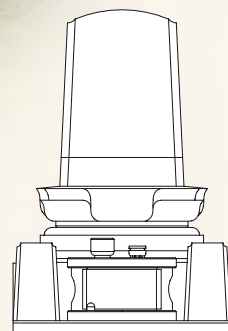
四季の移ろいの中、洗練されたそのフォルムは
どんな風景にも違和感なく溶け込んでゆく…。
そんなコンセプトのもと誕生した『やすらぎ』。
NEO CLASSICシリーズのフラッグシップと
呼ぶにふさわしい見事なたたずまいです。



【平面図】



【側面図】



【正面図】

庵治ストーンフェア2002
「経済産業大臣賞」受賞作品

モ
ダ
ン
ジ
ャ
パ
ン
ス
タ
イ
ル

スピカ

Spica

スピカは春のしるし…。

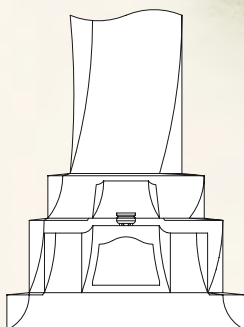
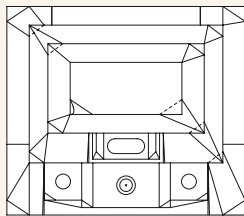
乙女座の女神デメテルが持つ
稲穂の先が「スピカ」です。

春の到来は、私たちが再び恵み豊かに暮らすために
なくてはならない喜びの儀式。

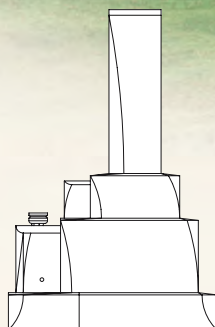
春の恵みが溢れる様(さま)を、
豊穡なラインが祝福します。



【平面図】



【正面図】



【側面図】

どんな風景にも違和感なく溶け込むたたずまい

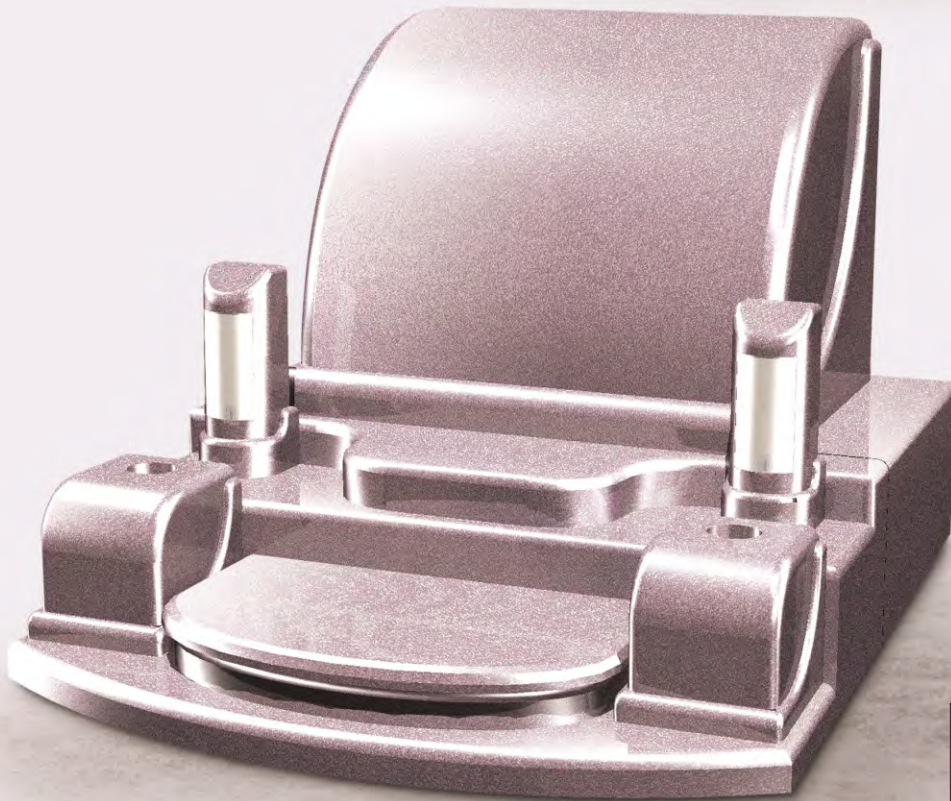
オーロラ

Aulora

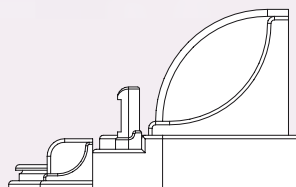
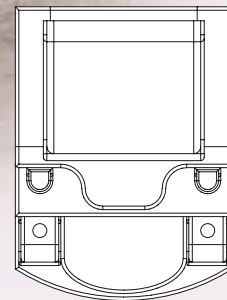
やわらかな曲線から生まれる個性的な表情。
天空に舞うオーロラにも似た、
神秘性と優美性が巧みに交差します。
重心の位置を少し低めにすることで、
大地に根をはる安定感を表現しています。

オーロラ(外柵)

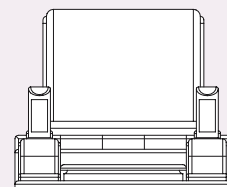
意匠登録第1218930号



【平面図】



【側面図】



【正面図】

エレガントスタイル

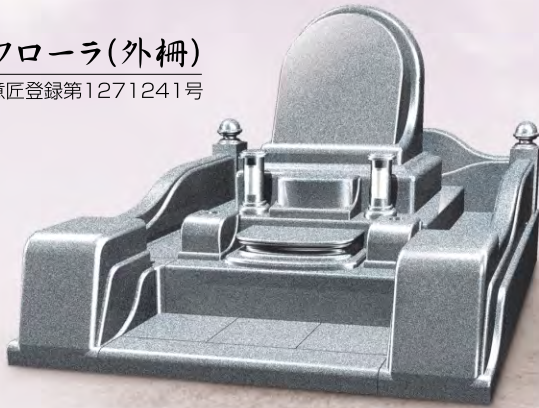
フローラ

Flora

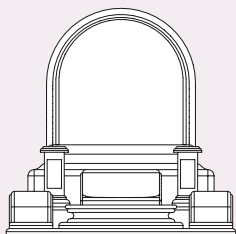
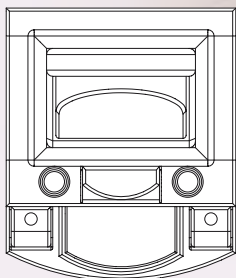
硬質なイメージをもつ素材の石が、豊かな曲線デザインの積み重ねにより、包み込むような優しいフォルムへと生まれ変わります。内に秘めたる強さと優しさを花の女神にたとえ、この名に込めました。

フローラ(外柵)

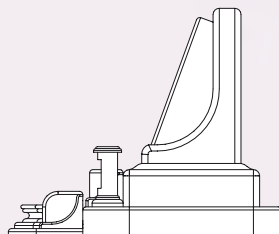
意匠登録第1271241号



【平面図】



【正面図】



【側面図】

豊かな曲線美が織りなす女神たちの美の競演

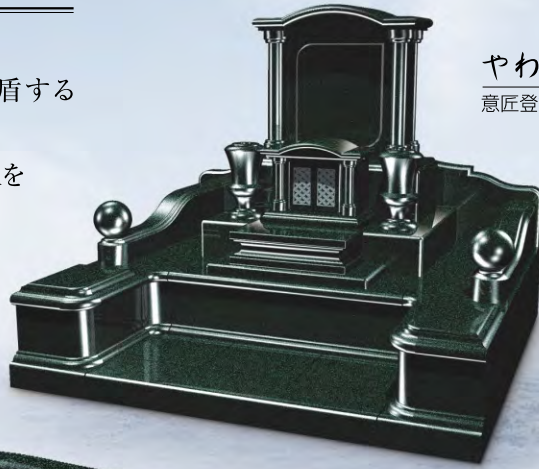
シリウス

Sirius

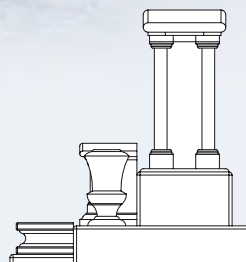
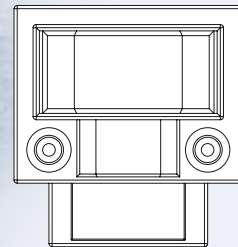
絶対的な存在感への憧憬…。
NEO CLASSICのコンセプトとは一見矛盾する
このテーマに、ギリシャ神殿を彷彿させる
直線的なデザインと細部に洗練された曲線を用いることにより応えました。

やわらぎ(外柵)

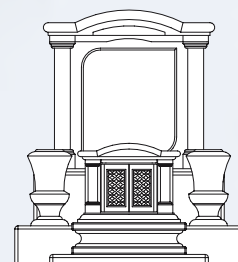
意匠登録第1280872号



【平面図】



【側面図】



【正面図】

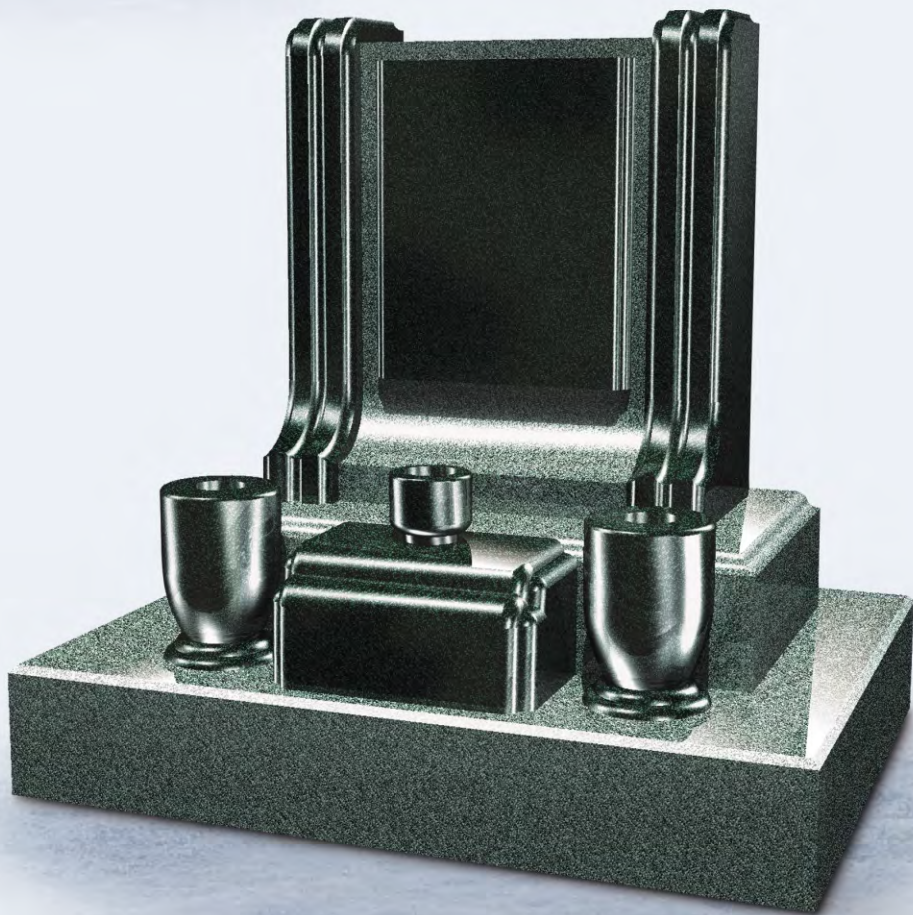
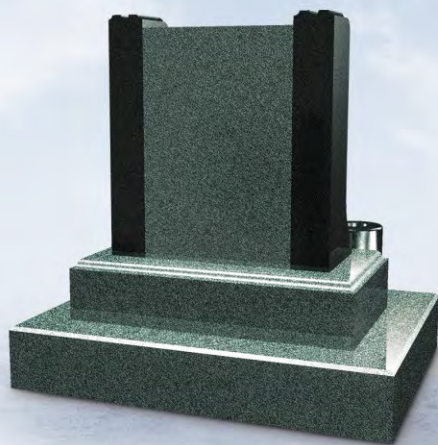
ラインビューティスタイル



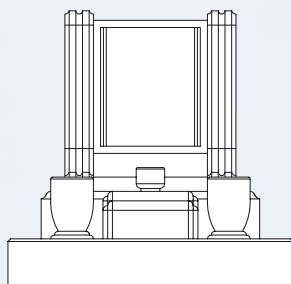
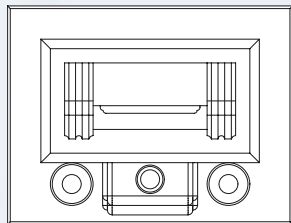
月光

Gekkou

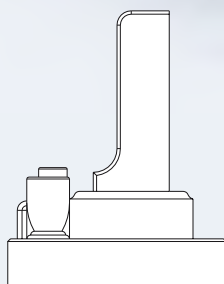
正面のゆるやかなラインは月の曲線そのもの。
地上を照らす“月光”のように、
神秘的な美しさと重厚なデザインが
心に染み入ります。
凜とした月の光は、家族をやさしく照らし
いつまでも見守り続けます。



【平面図】



【正面図】



【側面図】

パーツの石種を変えることで、
一層華やかさが増すデザインです。

絶対的な存在感と美の神秘が共存する世界



ドルチェ

Dolce

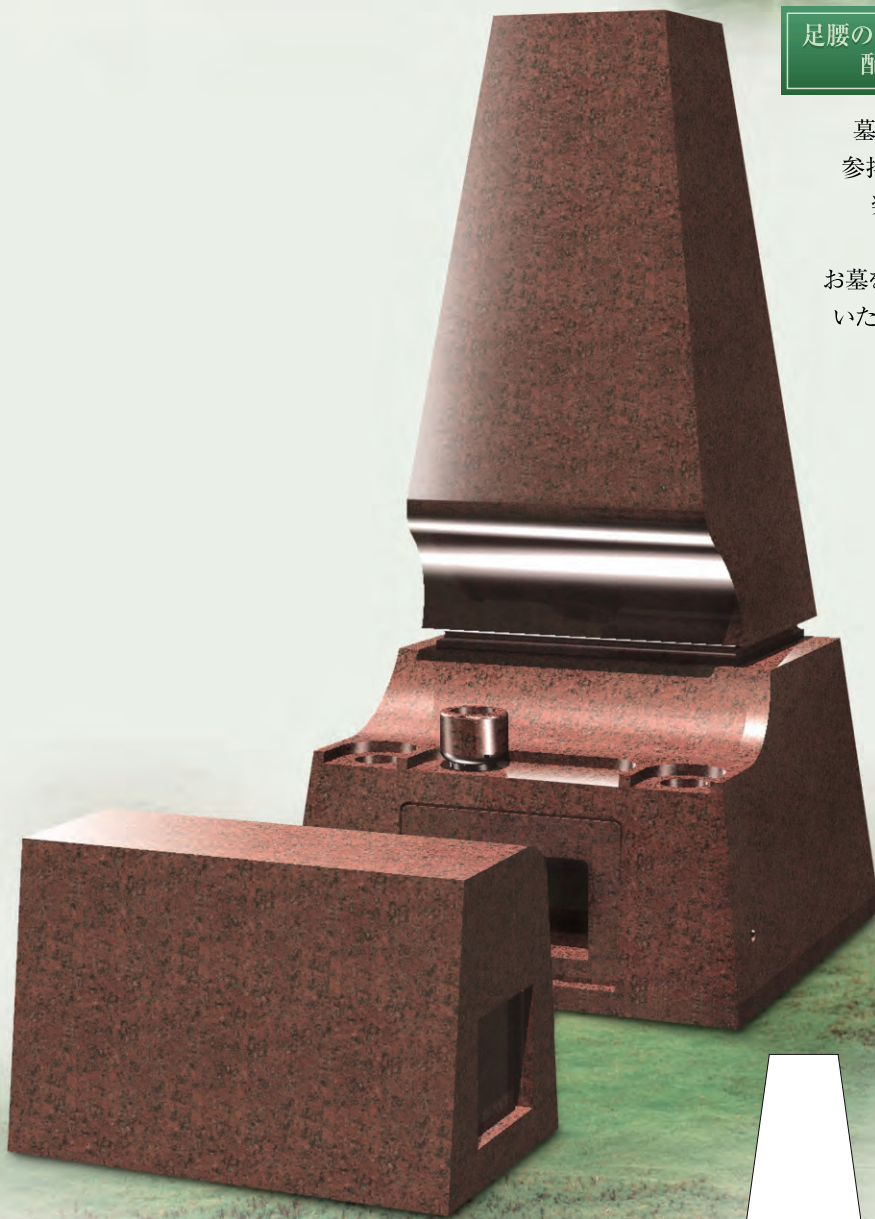
誕生したのは、和墓の新しいスタンダードです。
いにしへの伝統的なスタイルをベースに、
ワンモーションフォルムでアレンジしました。
懐かしさと新しさを融合させたのは、
シンプルモダンかつ大胆なデザインテイストです。



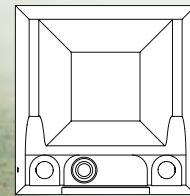
足腰のご不自由な高齢者の方々にも
配慮したデザインです。

墓石前に置かれた石台は、
参拝者が座り故人との対話を
楽しむためのものです。

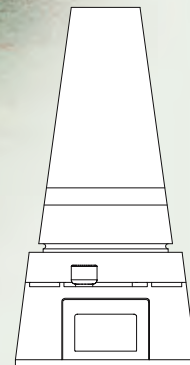
墓石に触れることで
お墓を身近な存在として認識して
いただくための接点となります。



【平面図】



【側面図】



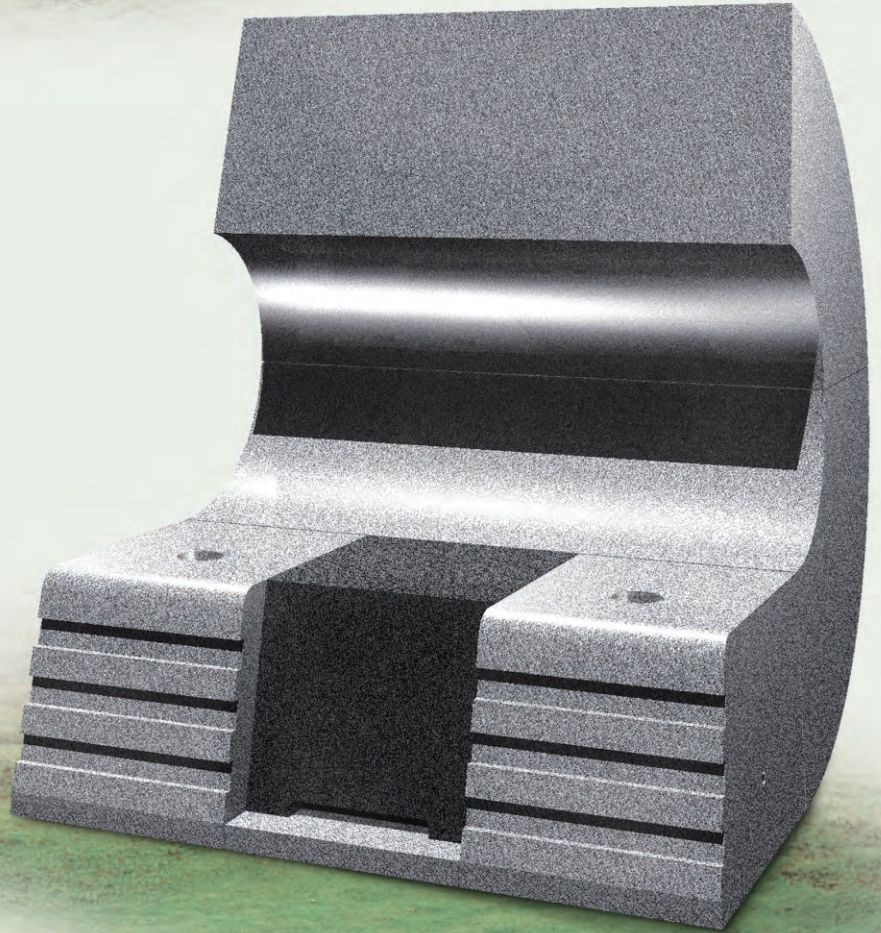
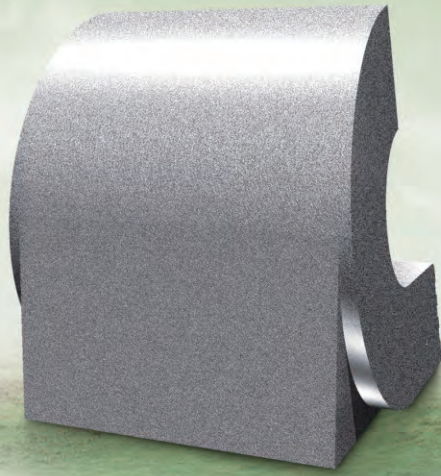
【正面図】

シンボリックスタイル

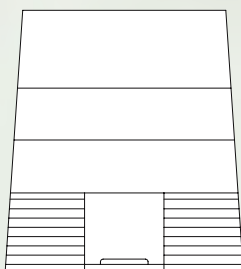
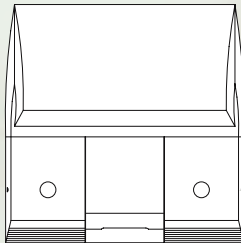
グレイス

Grace

すべてを包み込む大きな曲線…。
大地のようなスケール感と包容力に溢れています。
残りの曲線はお参りの方自身が
その一部となることでこの墓のデザインは完結します。
従来のスタイルにとらわれない、
シンプルで大胆なデザインです。



【平面図】



【正面図】



【側面図】

進化する感性といにしへの伝統が融合した

NEO CLASSIC

